



くらもとたかふみ
藏本隆文議員

今後のまちづくり 協議会の在り方

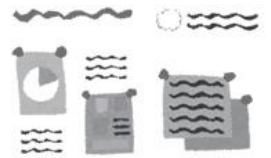
議員 まちづくり協議会の理念は、市民ニーズ、地域課題等に協働していく。そこには税金を投入しながら施策の反映もすることであるが、現状で実際行われているのか。

政策部長 我が地区は、10年後にはこうあってほしいという、地域計画の策定を勧めている。

議員 アンケート等での地域課題の分析はされているのか。

政策部長 分析して取り組んでいく協議会は少ない。

議員 地域担当職員役割に、行政とのパイプ役、情報提供、助言があるが、アンケート等を助言できるのに、機能しているのか。



政策部長 十分できていないので、意識等を強化していきたい。

議員 今後は、地域振興、福祉、地域整備・安心、集いの場等の4本柱に分け、儲かる地域、生きがいのある地域づくりに予算を付けていただきたい。

市民が健康で あるために

議員 笠岡市は、健康寿命世界一を目指しているが、健康であれば本人は幸せになる。その結果として、医療費の削減、次世代への負担軽減、行政負担分を他の施策に使えるという良い事ばかりであるが、良い施策なのに結果が出ていない。

健康福祉部長 効果がわかりやすいような施策を展開していきたい。



にしなふみひで
仁科文秀議員

地域で困難になりつつある ため池の維持管理への支援を！

議員 水田耕作者の激減、住民の高齢化等により、ため池の土手の草刈りや維持管理が難しくなっている。災害が懸念される「防災重点ため池」に指定された池には、浅口市や倉敷市のように維持保全活動に対する補助制度を考える時期にきていると思うがどうか。

市長 維持管理が難しくなっているのは把握しているが、受益者負担の考え方もあり、今のところ実施の予定はない。市内6か所のため池への太陽光パネルの設置が進んでいるが、市としても池の占用料等を今後の市内のため池の修繕等の予算の循環につなげたい。

議員 ため池の維持保全活動は、かなり切実な問題になってきている。できなくなったときに市として



でどう地域に伝えていくのか。

建設部長 費用の面では、現在、地元で一定の負担をいただいている中で考えている。今後、太陽光設置業者からいただくお金を新たな財源として支援していけるかどうか考えたい。

議員 特に、ため池の下に住居や集落があるところでは、地域に何らかの還元をしながら維持管理するのが行政の役割だと思う。「ため池管理保全法」の第21条では、国及び地方公共団体は、適正な管理に必要な資金の確保、技術的指導の援助に努める、と書いてある。災害を未然に防ぐためにも、当然に予算措置と支援が取られるべきだ。

